

日本小児外科学会
令和2年度第3回定例理事会

日時:令和2年9月18日(金)14:30~18:30

会場:都市センターホテル

出席者:田尻達郎(理事長)、増本幸二(副理事長)、山高篤行(会長)、黒田達夫(理事・次期会長)、越永従道(理事・次々期会長)、臼井規朗、金森 豊、浮山越史、大植孝治、田中 潔(以上理事)、窪田正幸、八木 實(以上監事)、藤野明浩(庶務委員長)、浦尾正彦(財務会計委員長)、上原秀一郎(財務会計副委員長)、照井慶太(庶務副委員長)、宮野 剛(庶務委員)、家入里志(施設認定委員会委員長)、菱木知郎(専門医認定委員会委員長)、古村 眞(専門医制度庶務委員会委員長)、廣部誠一(第36回秋季シンポジウム会長)、山田洋平(庶務委員)、内田恵一(第77回直腸肛門奇形研究会会長)、内田広夫(第40回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会会長)、奥山宏臣(第50回日本小児外科代謝研究会会長)、高橋正貴(第37回秋季シンポジウム事務局)、松藤凡(第25回日本小児外科漢方研究会会長)、仁田尾慶太、登坂早百合(以上事務局)

欠席者:野田卓男理事

議事案件:

議 事:

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は金森 豊理事、浮山越史理事とした。
2. 令和2年度第2回定例理事会議事録につき全会一致にて承認された。
3. 審議事項

1) 第57回学術集会について(山高会長)

山高会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・参加状況について、事前登録が918名。

内訳は以下のように報告された。

医師:871名

企業:4名

メディカルスタッフ:13名

研修医:18名

医学部学生:12名

- ・演題数については620演題。

内訳は以下のように報告された。

ポスター発表:460演題(17件キャンセル)

口演:160演題(3件キャンセル)

- ・演題はありだが事前登録なしは25名。

連絡あり：14名

連絡なし：11名

連絡が来ていない方々には大会終了後に連絡を取るようになった。

- ・アシステ・ジャパン社からのDMについて、ポスター掲示無料代行のDMハガキを、本学術集会の名で無断発送されていると報告があり、アシステ・ジャパン社に連絡し今後このような事をしないよう伝えた。
- ・名誉・特別会員の参加については23名。
内訳は以下のように報告された。

Web参加：21名

会場参加：2名

日時：令和2年9月19日（土）、20日（日）、21日（月祝）

会場：都市センターホテル

テーマ：小児医療システムの擁護と支援：子供が最初、いつだって

2) 第58回学術集会について(黒田次期会長)

黒田次期会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・Hybrid形式で準備を進めている。
- ・講演者について海外の先生方には内諾を頂いているが、今後の海外情勢の状況次第と連絡を頂いている。

日時：令和3年4月28日（水）、29日（木）、30日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たるなかれ

3) 第59回学術集会について(越永次々期会長)

越永次々期会長より、進捗状況が報告され承認された。

- ・日程と会場以外は現在、検討中。
- ・今後の学術集会のあり方も含め、今年・来年の様子もみて形式を検討していく方向。

日時：令和4年5月19日（木）、20日（金）、21日（土）

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム

4) 第36回秋季シンポジウムについて(廣部秋季シンポジウム会長)

廣部秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・完全Web開催。11月5日（木）から26日（木）までオンデマンド配信。
- ・10月上旬より、参加登録開始予定。
- ・参加費10,000円。目標参加人数は500人前後。
- ・演題は現段階で31題。

- ・1 演題 1GB 内で 10 月中にアップロードしてもらう方向で進めている。
- ・昨年同様 Face book を使用し集まりやすい工夫をしていく。
- ・質疑応答についてはチャット機能をつけてディスカッション出来るようにしていく予定。
- ・閉会式については庶務委員会と事務局ともに検討することとなった。

日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）

会場：Web にて実施予定

テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

5) 第 37 回秋季シンポジウムについて(金森次期秋季シンポジウム会長)

金森次期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され承認された。

- ・会場数について 2 会場と 3 会場で案が出ているが 3 会場の方がやりやすいと考えられるが、費用が一番の課題となっている。
- ・Hybrid 形式で開催の予定で検討している。
- ・浦尾財務委員長から予算について、ここ数年で状況は改善し、若干の余裕があることが報告された。この報告により、来年に関しては特別予算を組み学会からの支援を検討する方向となった。会場に関しても 3 会場を前提に動いていく方針となった。
- ・今後、秋季シンポジウム・PSJM の会議を別途設ける方針となった。

日時：令和 3 年 10 月 30 日（土）

会場：ベルサール神田

テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用

6) 第 38 回秋季シンポジウムについて(野田次々期秋季シンポジウム会長)

野田次々期秋季シンポジウム会長が不在の為、次回報告となった。

日時：令和 4 年 10 月 29 日（土）

会場：岡山コンベンションセンター

テーマ：小児外科治療後のサルベージ

7) 臨時社員総会（NPO 評議員会）及び NPO 総会について(藤野庶務委員長)

藤野庶務委員長より、資料に基づき報告がなされた。

- ・会場では簡易版の資料を配布。定款など詳細が書かれてる資料は既に Web でダウンロード出来るよう配信済み。
- ・zoom ウェビナーを使用し意見のある方はチャットを使用することが報告された。
- ・名誉・特別会員証状授与については会場来場者が植村貞繁先生。ビデオレターは前田貢作先生、秋山卓士先生、河野美幸先生。田口智章先生は来年の学術集会にてご挨拶して頂く予定。

- ・優秀論文賞は2人とも来場予定。
- ・JSPS Prize 賞の受賞の回数について今後、検討していくこととなった。

8) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会(藤野委員長)

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

令和2年8月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,721名(うち海外1名)、評議員を除く準会員11名、評議員318名、名誉会員59名(うち海外8名)、特別会員71名(うち海外1名)の合計2,180名であると報告された。

- ・医師・歯科医師に対する行政処分一覧表において当学会の会員に該当者がいないことが報告された。
- ・特別会員で退会希望があり、今まで特別会員が退会する事例がなかった為、当会員に連絡することとなった。
- ・一社の定款施行細則の理事、監事及び会長並びに次期会長の選出について、今後、電子投票が出来るよう改正していくため、選挙の日程、当選者の決定について提案がされたが10月の総合調整委員会で一度、話し合いをしてから11月の理事会で内容を確定させていく方向となった。
- ・選挙にて得票が同数の場合は優先条件として評議員歴が長いことを第一条件とし、歴が同じだった場合は第二条件で年齢が高いものとする案が検討されることとなった。

(2) 財務会計委員会(浦尾委員長)

浦尾委員長より、以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・今後、Web会議が頻繁になると予想されるのでzoomウェビナーを契約しようとしている。代理店だと請求書払いが出来るが料金自体が高いため、直接契約で進めていく方針。しかし、支払い方法がクレジット決済のみのため現在、クレジットカードを作成中。カードが出来次第、契約を進めていくことが報告された。

(3) 専門医制度委員会(家入里志施設認定委員会委員長、菱木知郎専門医認定委員会委員長、古村 眞専門医制度庶務委員会委員長)

家入里志施設認定委員会委員長、菱木知郎専門医認定委員会委員長、古村 眞専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

菱木知郎専門医認定委員会委員長より以下のことが報告された。

- ・専門医試験の問題は作成済み。
- ・専門医認定：新規59名の内49名合格。更新53名の内37名合格。
- ・指導医認定：新規17名の内6名合格。更新39名の内30名合格。
- ・会場はAP品川。東京都の感染症対策基準に基づき準備を進めている。
- ・試験の一週間前までに受験者に受験可否を確認し、コロナの影響で来れない受験者に対しては受験料の返金をすると報告されたが、返金するのが事務的に負担が大きくなる

ことから、来年の受験料として持ち越しすることを検討することとなった。
家入里志施設認定委員会委員長より以下のことが報告された。

- ・7、8月で委員会が行われたが第2波の影響で会場に集まることが難しく、一回目の審査をシングルチェックにし、簡略化して行った。
- ・年次報告の審査に関しては193件の内、再審査が24件あり未提出のものが2件あるので確認を行っている。
- ・認定施設については40件申請があり、そのうち再審査7件、不合格2件であった。その中で再審査時に『年間10例以上の新生児外科症例を有し、うち5例は新生児外科手術例』の基準をクリアすることが困難な施設が見受けられた。ここ数年そのような施設が増加傾向にあるため、現在の状況に合っていないのではないかという意見があり『手術症例5例』にするなどの検討を行う方針であることが報告された。

古村 眞専門医制度庶務委員会委員長より以下のことが報告された。

- ・小児外科学会専門医制度のHP刷新について9月末に案が作成される予定なので、それをもとに委員会で話し合う予定。
- ・NCDから2点不具合の報告があった。

1つ目は生後30日以降の新生児手術症例が新生児症例としてカウントされていない疑いが一時あったことであるが、後日NCDに確認したところ、正しくカウントされていたことが確認できたと臼井規朗理事から報告された。また、今年分の新生児統計時に症例の欠落が見受けられ修正が行われたが、専門医認定施設の審査では影響が出なかったことが報告された。

2つ目は2012年からマスターの中に欠落していた番号があるとの報告であり、専門医新規申請、指導医新規申請においてカウントされていなかったことが報告され今後の対応について委員会内で検討する方針となった。

- ・『基本領域およびサブスペシャリティ領域学会に対するサブスペシャリティ領域専門医制度の説明・意見交換会』について参加者が田尻達郎理事長、増本幸二副理事長、家入里志施設認定委員会委員長、菱木知郎専門医認定委員会委員長であることが確認された。

田尻理事長より以下のことが報告された。

- ・各領域からの専門医制度への提言について抄録を作成中。菱木知郎専門医認定委員会委員長に外科学会へ出してもらおう予定。

(4)機関誌委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・直近の論文投稿状況では2019年に比べ2020年に増加がみられた。
- ・最近の問題として二重投稿・二次出版が立て続けに発覚しており、審議の結果すべて却下となった。

(5)国際・広報委員会(田尻担当理事)

田尻担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(6)保険診療委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より、資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・9月2日に保険診療委員会が行われ令和2年度診療報酬改定に向けての要望項目と採用結果、次回の診療報酬改定に向けて準備を進めていることが報告された。

(7)教育委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・卒前アンケート調査にて、講義に使用出来る資料を学会で提示して欲しいとの意見等があり、今後 Web 上で e-learning 等の学生向けのコンテンツを挙げられるかを検討していくと報告された。
- ・卒前アンケート調査の結果については来年度の学術集会にて報告し、その後、学会誌にも掲載する方向となった。
- ・卒後教育セミナーなど来年度の学術集会で zoom ウェビナーを使用する方向となった。

(8)悪性腫瘍委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(9)学術・先進医療検討委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・日本医学会から120周年記念企画案について、委員に意見を募って案を作成し、8月27日の総合調整委員会に提出したことが報告された。
- ・122回日本外科学会定期学術集会 小児外科領域プログラム案について、委員会で出た案を報告したが、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップでそれぞれ2つずつ挙げ直し、理事会の審議メールをかけ最終決定することとなった。
- ・ホームページの手術動画コンテンツについて、動画の部分のみ修正が完了できていない状況。動画のコンテンツは見やすくし、ログインの設定が調整中であることが報告された。
- ・新生児全国調査の進捗状況について、NCD-P内のデータベースから2018年の新生児全国調査の算出が終了したため、抽出されたデータを当委員会新生児全国調査WGにて解析・整理を行った。しかしNCDから送られてきたデータで欠落があったため、データの修正と整理にかなりの時間を要した。この内容は、委員会報告として発表された後、小児外科学会雑誌に掲載(12月号の予定)し、HPに掲載する予定であると報告された。

(10)倫理・医療安全管理委員会(野田担当理事)

野田担当理事が不在の為、田尻理事長より、報告がなされ承認された。

- ・学術集会時の演題応募の際の倫理規定について野田担当理事より来年度も試行とすることが提案されたと田尻理事長より報告された。今後、来年度の学術集会での文言について倫理・医療安全管理委員会と黒田次期会長で検討していく方針となった。

(11)データベース委員会(田中担当理事)

田中担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・NCDデータを利用した複数領域にまたがる新規研究課題の公募について。ホームページとメール配信にてお知らせし、10月2日を締め切りとしていることが報告された。

(12) 小児救急検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・救急受け入れ状況調査のアンケートを8月31日未締めで行ったが集まった件数が半数だったため、データを確認しもう一度リマインドするか検討する方針となった。

(13) トランジション検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(14) ワークライフバランス検討委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・大学勤務医をはじめとする勤務医の労働環境の改善に向けての調査の件について、回答を提出したが、一度取り下げし内容をメーリングリストで回して理事会メンバーで確認することとなった。特に意見がない場合、そのまま再提出する方向となった。

(15) 規約委員会(金森担当理事)

金森担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(16) 研究倫理委員会(野田担当理事)

野田担当理事が不在の為、次回報告となった。

- ・倫理・医療安全管理委員会の報告事項同様、倫理規定について黒田次期会長で検討していく方針であることが話された。

(17) NCD 連絡委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(18) ガイドライン委員会(金森担当理事)

金森担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・腸回転異常症診療ガイドラインについては現在、推奨文が作成中であることが報告された。
- ・外科学会のパネルディスカッションで『小児外科における診療ガイドラインの現状と課題』という演題で委員会として伊勢一哉先生から報告させて頂きたいと要望があり、承認された。

(19) 利益相反委員会(金森担当理事)

金森担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(20) 総合調整委員会(増本委員長)

増本委員長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・令和2年度第1回総合調整委員会議事録案につき報告され承認された。

(21) 日本外科学会理事会(田尻理事長)

田尻理事長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・外科学会の理事会で8月に行われた第120回日本外科学会定期学術集会の結果報告が行われ、使用された資料について報告がされ、Surgical Week について今後はサブスペシャリティ学会と外科学会の学術集会を同時期に開催することが2027年を目標に検

討されていると報告がされた。

(22) 四者協関連(越永前理事長)

越永前理事長より、資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・9月16日に四社協のWeb会議が開催され、以下の報告がされた。
- ・日本小児保健協会から本年度から「健康診査委員会」を所管することになったため、日本小児医療保健協議会合同委員会規定の各団体の担当委員会の該当箇所の改訂が報告された。
- ・日本小児科医会がコロナ下における小児科の患者数の減少について危惧しており、国に対し「小児科消滅阻止に向けた緊急要望」を声明として国会議員を中心に提出されたことが報告された。また、合同委員会の年齢制限が70歳から75歳に延長することが決まり、連続3期までの縛りを撤廃したことが報告された。
- ・日本小児科外科系関連学会協議会からは東日本大震災10年事業として市民公開講座を開催したいと提案があり承認された。

(23) 選挙管理委員会(藤野選挙管理委員長)

藤野選挙管理委員長より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・評議員選挙について新しい選挙システムを導入する予定。導入後、委員会内でテストを行う予定であることが報告された。

9) がんの子どもを守る会の後援について(田尻理事長)

田尻理事長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

4. 報告事項

1) 理事長報告(田尻理事長)

- (1) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.374」を受領した。
- (2) 日本医学会からの寄贈本「第27回日本医学会公開フォーラム肺炎を理解する～肺炎予防の重要性とあなたもできる肺炎対策～」を受領した。
- (3) 難病医学研究財団からの寄贈本「難病研究財団ニュース No.52 2020.7」を受領した。
- (4) 日本医師会総合政策研究機構からの寄贈本「日医総研ワーキングペーパー No.445」を受領した。
- (5) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医学会雑誌 第47巻・第2号」を受領した。
- (6) 日本専門医機構からの寄贈本「サブスペシャリティ領域専門医の必要医師数と専門医制度における養成数の検討」を受領した。
- (7) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No198」を受領した。
- (8) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.375」を受領した。
- (9) 日本医学会分科会からの寄贈本「第31回目 日本医学会総会 趣意書」を受領した。
- (10) 日本医学会からの寄贈本「第28回日本医学会公開フォーラムのご案内」を受領した。
- (11) 日本医学会からの寄贈本「日本医学会分科会一覧」を受領した。
- (12) 日本外科学会からの通信文「専門医認定試験および予備試験日程のお知らせとお願い」を受領した。

い」を受領した。

- (13) 日本人間ドック学会からの通信文「理事長退任と就任のご挨拶」を受領した。
- (14) 日本小児血液・がん学会からの通信文「理事長退任と就任のご挨拶」を受領した。
- (15) 日本周産期・新生児医学会からの通信文「新役員のお知らせ」を受領した。
- (16) 日本胸部外科学会からの通信文「特定非営利活動法人から一般社団法人への移行のお知らせ」を受領した。
- (17) 「「臨床研究法施行規則の施行等について」の一部改正について」を受領した。
- (18) 「【日本がん治療認定医機構】2020年度 教育セミナーおよび認定医試験 開催方法の変更につきまして」を受領した。
- (19) 「2020年度 CREST 研究提案臨時募集（コロナ対策臨時特別プロジェクト（仮）の内容およびスケジュールについて」を受領した。
- (20) 「NCD10周年式典開催のご案内」を受領した。
- (21) 「デュルバルマブの最適使用推進ガイドラインについて」を受領した。
- (22) 「ペムプロリズマブ及びデュルバルマブの最適使用推進ガイドラインについて」を受領した。
- (23) 「医療領域の放射線安全ガイドライン発行について」を受領した。
- (24) 「在宅使用が想定される人工呼吸器等の周辺における携帯電話端末の利用時の留意点に関する患者等向けリーフレットの発行について」を受領した。
- (25) 「小児医学川野賞候補者推薦のご依頼」を受領した。
- (26) 「未来への提言 ご協力をお願い」を受領した。
- (27) 「令和元年度 販売情報提供活動監視事業報告書について」を受領した。

2) 次回定例理事会日程の確認(田尻理事長)

次回定例理事会は令和2年11月4日(水)11:00~15:00 会場は調整中。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____